

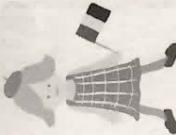
くらしナビ ◆ ライフスタイル



フランス北部、エーヌ県クルイ村の
自宅で預かった子どもに本を読み聞
かせる保育ママのイングリッド・シ
エラスキさん=宮川裕章撮影

「開通手続き」保育ママ人気

子どもと 家族の大団 フランスは今



2

フランス北部のエーヌ県クルイ村。保育ママのイングリッド・エラスキさん(48)は毎朝、豪華な石造りの2階建ての自宅で子どもたちを迎える。この日来たのはエミーちゃん(1歳)、兄のロアン君(5)だ。

●両親の要望聞いて

エラスキさんは17年前、会計事務所の秘書を辞めて保育ママに転身。1ヶ月の5人を口替わりで、朝早い日は午前7時から、夜遅い日は午後8時まで預かる。保育中に子どもたちの様子をショットメールに書いたり、写真を撮って両親に送ったり。週に2回は他の保育ママと一緒に、子どもたちを見壇館や図書館に連れて行く。

「両親の要望を聞きながら、子どもたちそれそれに合わせた手作りの保育ができるのが保育ママの長所です」と、エラスキさんは語る。

ロアン君きょうだいの母、

薬品販売業のオレリー・バレンさん(39)は、ロアン君を出産した時に保育所に申し込んだが空きがなく、知人から紹介されたエラスキさんに預けることを決めた。

「最初は知らない人に子どもを預ける不安はあった。でも今は、子どもが病気の時にすぐに迎えに行かなければならぬ保育所よりも、時間の融通がきく保育ママを信べる」

日本は保育所などの「施設型保育」が中心で、約83万人の0~2歳児が認可保育所を利用する一方、保育ママを利用する子は700人に満たない。だがフランスでは、2歳までの子の18%が保育ママを利用し、保育所の1%を大きく上回っている。

フランス全国家族協会連合(FINA)のローラン・クレブノ事務局長は「経済危機の中、建設・運営費の高い保育所より、保育ママは自治体の財政負担が小さく、高度な資格を必要としない」と指摘する。

国も保育ママ制度を積極的に支援している。保育ママを利用する親に補助金を支払う給与の大半をカバーする。政府は6月、保育ママによる乳幼児の受け入れを、2017年までに10万人分増やす計画も発表した。

●低賃金に課題も

もともと、保育ママに対する社会の理解や評価は十分とはいえない。仏東部アルルアンプレスの保育ママで、保育ママ労組の委員を務めるセリヌ・トルシユールさん(33)は「保育ママを『家で何もせずに子どもを預かる人』と思う人もいる」と嘆く。

仏東部リヨンでは1年、保育ママに不信感を持った両親が息子のねいぐるみに録音機を隠し、職務怠慢を告発する事件が発生。事件を担当したベアトリス・ベルトラン弁護士が保育ママ宅への監視カメラ設置などを提案し、議論を呼んだ。

低賃金などの課題もある。保育ママの給与は利用者との交渉で決まるが、日給が一定額を超えると、利用者が補助金を受けられなくなる規定があり、給与は抑えられるがち。エラスキさんの時給は子ども1人につき手取りで3円(約420円)。長時間労働でようやく月額最低賃金11万211円(約15万800円)を上回る1300円(約18万300円)の収入を得